

施策分析シート（平成20年度）

No1

| | | | | | | | |
|-------------------------|---|------------------|--------|------------|--------------|----------------------|--|
| 施策名 | ごみの適正処理の推進 | 施策No | 07-04 | 部課名 | 環境清掃部荒川清掃事務所 | | |
| | | 課長名 | 吉田 茂 幸 | 内線 | 471 | | |
| 関連部課名 | 環境清掃部清掃リサイクル課 | | | | | | |
| 行政評価 | 分野 | 環境先進都市[] | | | | | |
| 事業体系 | 政策 | 地球環境を守るまちの実現[07] | | | | | |
| 目的 | 廃棄物の発生抑制、再利用・資源化を推進するとともに、排出された廃棄物については適正、安定的に処理することにより、生活環境の保全、区民の健康で快適な生活を確保する。 | | | | | | |
| 指 標 | 施策の成果とする指標名 | 指標の推移 | | | | | 指標に関する説明 |
| | | 17年度 | 18年度 | 19年度 | 20年度 | 目標値 (28年度) | |
| | ふれあい指導実施状況 | 1,346件 | 1,645件 | 4,197件 | 5,000件 | 2,000件 | 事業者に対する排出ルール of 適正化等の指導件数(19・20年度は分別ルール変更に伴い、取り残し等の指導が増) |
| | 不法投棄収集個数 | 791個 | 616個 | 686個 | 600個 | 300個 | 道路等に不法投棄された廃棄物の収集個数 |
| | 徴収率(ごみ処理券・一般廃棄物処理手数料) | 99.8% | 100.0% | 99.9% | 100.0% | 100.0% | 収集額 / 調定額 (現年度分) |
| | 環境学習実施状況 | 17校 | 12校 | 13校 | 20校 | 33校 | 実施小・中学校数 |
| 公務災害発生率 | 4.1% | 6.4% | 1.5% | 0.0% | 0.0% | 公務災害発生件数 / 職員数 × 100 | |
| 現状と課題 (指標分析) | 廃棄物の収集運搬をはじめ、減量化・再利用推進等についての住民指導、大規模建築物に関する届出受理、苦情処理等多岐にわたる事務を行っている。また、廃プラスチックのサーマルリサイクル実施に伴う新分別ルールの徹底に向けた取組や不法投棄対策等の課題への対応が求められている。 最終処分場の延命化や「清掃負担の公平・役割分担のあり方」という観点から、今後より一層の廃棄物の排出抑制、再利用・資源化の取組が不可欠である。 清掃事務所の他、直営清掃車両基地としての南千住清掃車庫、不燃ごみ船舶中継基地としての尾竹橋清掃作業所が設置されているが、作業所廃止後の用地や直営車両の減少による施設の活用についての検討が必要である。 職員の定年退職者の増加や平均年齢の上昇がみられる中で安定的な廃棄物処理体制を維持していくための執行体制の整備が課題となっている。 | | | | | | |
| 今後の方向性 | 《今までの成果及び指標分析を踏まえて》 廃棄物の適正処理や資源化の推進に向けた施策の拡充(ふれあい指導の体制強化による新分別ルールの排出指導・不法投棄対策等の取組、保育園・幼稚園等における環境学習の実施拡大等) 廃棄物の安定処理に向けた効率的で効果的な執行体制の整備(サーマルリサイクル本格実施後の体制検討 粗大ごみ収集作業の民間委託等) ごみ処理券等に係る債権の確保・管理に向けた取組の強化 廃プラスチックの新たな資源化等に向けた清掃リサイクル課と連携した新たな施策検討 | | | | | | |

| 施策の分類 | | 分類についての説明・意見等 |
|-------|-------|---------------|
| 前年度設定 | 今年度設定 | |
| 推進 | 推進 | 快適な生活環境を確保する。 |

施策分析シート（平成20年度）

No2

| 施策を構成する事務事業の分類 | | | | | | |
|-----------------|----------|-----------|-----------|------------|--------|---|
| 事務事業名 | 事務事業 No | 決算額（千円） | | 施策推進のための分類 | | 分類についての説明・意見等 |
| | | 18年度 | 19年度 | 前年度設定 | 今年度設定 | |
| 清掃協議会分担金 | 05-02-02 | 55 | 184 | 継続 | 継続 | 事務の調整を引き続き実施する。 |
| 清掃調査事業 | 05-02-03 | 8,761 | 539 | 推進 | 推進 | これからの清掃事業を考える上で清掃審議会における審議や調査等が必要である。 |
| 中間処理分担金 | 05-02-05 | 922,123 | 1,012,740 | 推進 | 推進 | 23区同一の算定方法であり、妥当な費用負担のため優先度は高い。 |
| 清掃リサイクル課ごみ処理券事務 | 05-02-06 | 7,886 | 11,500 | 推進 | 推進 | 事業者処理責任とごみの減量のための重要な施策である。 |
| 清掃事務所事務 | 05-03-01 | 311 | 2,582 | 継続 | 継続 | 現状の規模で実施する。 |
| 安全衛生管理 | 05-03-02 | 8,395 | 6,228 | 推進 | 推進 | 公務災害や車両事故の発生防止、また、安定的な清掃事業運営のためにも優先度は高い。 |
| 清掃管理事務 | 05-03-03 | 3,745 | 3,711 | 継続 | 継続 | 廃棄物情報管理システムを今後とも効率的に活用していく。 |
| 廃棄物排出指導 | 05-03-04 | 188 | 35 | 推進 | 推進 | 新分別ルールの徹底やごみ減量・リサイクルの一層の推進のために優先度は高い。 |
| 清掃事務所管理運営 | 05-03-05 | 19,442 | 16,782 | 継続 | 継続 | 光熱水費等の経費の削減に努めつつ、現状の規模で実施する。 |
| 営繕事務 | 05-03-06 | 0 | 0 | 継続 | 継続 | 施設の将来的な活用に留意しつつ、環境に配慮した施設整備を検討していく。 |
| 収集作業運営 | 05-03-07 | 629,383 | 654,267 | 推進 | 重点的に推進 | 粗大ごみ収集の民間委託の検討等が必要であり、優先度は極めて高い。 |
| 作業所管理運営 | 05-03-08 | 2,835 | 2,740 | 継続 | 継続 | 管理の徹底等により、経費の削減に努めつつ、現状の規模で実施する。 |
| 中継管理事務 | 05-03-09 | 15,651 | 18,182 | 継続 | 継続 | 安全確保に留意しつつ、現状の規模で実施する。 |
| 中継作業運営 | 05-03-10 | 214,523 | 216,412 | 推進 | 継続 | 20年度より船舶中継作業を委託している。 |
| 清掃車庫管理運営 | 05-03-11 | 8,288 | 9,049 | 継続 | 継続 | 管理の徹底等により、経費の削減に努めつつ、現状の規模で実施する。 |
| 運搬管理事務 | 05-03-12 | 8,112 | 8,646 | 継続 | 継続 | 現状の規模で実施する。 |
| 運搬作業運営 | 05-03-13 | 7,334 | 7,708 | 推進 | 推進 | 認証工場の見直しを含め、今後の活用を検討していく。 |
| 最終処分 | 05-03-14 | 0 | 0 | 継続 | 継続 | 現状の規模で実施する。 |
| 清掃事務所ごみ処理券事務 | 05-03-15 | 12,537 | 12,675 | 推進 | 推進 | 事業者処理責任とごみの減量のための重要な施策である。あわせて債権の確保・管理に向けた対応等が必要であり、優先度は高い。 |
| 動物死体処理 | 05-03-16 | 1,788 | 1,291 | 継続 | 継続 | 発生した頭数を確実に処理する。 |
| ふれあい指導 | 05-03-17 | 3,436 | 3,164 | 重点的に推進 | 重点的に推進 | 新分別ルールの徹底や不法投棄対策等実施のために取り組みの優先度は極めて高い。 |
| 合 計 | | 1,874,793 | 1,988,435 | | | |